

「生活単元学習」学習指導案

日 時 平成20年9月12日(金) 1校時

対象生徒 4名

場 所 家庭科室

指 導 者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 **農園弁当第1号!** ~「ありがとう」をこのお弁当に込めて~

2 単元について

文部科学省特別支援教育パンフレットには、特別支援教育とは「障害のある子どもが自立し、社会参加するために必要な力を培うため、子ども一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び支援を行うもの」と明記されている。社会参加するためには、変化の激しいこれからの時代を生きぬくための健康と体力、確かな学力、いろいろな力が必要だと思われるが、特に「人とつながる力」が大切だと考える。「人とつながる」ためには、自分を理解してもらおうという気持ちと相手のことを思いやる気持ちが必要である。今年度は、個別の指導計画検討会(本人、保護者、担任の三者で行っている)でも、生徒個々の「人とつながる力」について協議し、その力をつけるための学習内容はどうか話し合いを重ねるとともに、この点に焦点を当てて授業を展開してきている。

(写真)

本校の生活単元学習は、1年を通してあすなる工房に取り組んでいる。あすなる工房は「働く」ということを考えるという目的で生まれ、カレーハウスやお菓子屋さんなどを中心に作業単元的な活動を展開してきた。みんなで一つのものをつくる活動を繰り返していく中で、生徒個々がこの集団の中で自分の責任を感じることができ、8人の一人ひとりがかけがえのない存在だということに気づき始めた。バラバラだった8人がつながっていったのである。今年度は、

(写真)

視点を更に作業から人とのつながりに移していく。活動をより充実したものにするため、保護者や地域の方々にもゲストティーチャーなどで授業に加わってもらうこととした。学級を外に開いていくことで、「自分と友達」、「自分と先生」だけの関係でとどまっていた世界を広げていこうと考えた。

本単元は、お弁当を題材として活動を展開していく。お弁当の良いところは、一つの容器の中に、栄養のバランス、適当な量、相手に対する思いやり、自分たちのアイデアを詰め込むことができることである。また、大量につくる場合は、作業を分担しやすく、自分の作業がどこにつながっているのかが分かりやすい。これからあすなる工房は、弁当部門開設を目指し、3月まで本格的に「お弁当」づくりに取り組んでいく。本単元はその入り口にあたる小単元である。

(写真)

今回、4人がつくるお弁当は平出さんへのプレゼントである。平出さんはあすなる農園のゲストティーチャーである。学校の近隣に住む方で、生徒がいつでも会いに行くことができる状況にある。「ダメなことはダメ」分け隔てなく叱る人であり、いつも4人を見てくださり、大きな集団の中でがんばっている4人をたくさん褒めてくれる人でもある。平出さんが、朝夕、毎日欠かさず農園に足を運んでくださったお陰で、農園の野菜はたくさんの実をつけた。4人は平出さんに感謝しており、その気持ちを形にしたいと、おいしいお弁当を作るべく、これまで食物の学習に一生懸命取り組んできた。

(写真)

この学習は単に栄養バランスが取れたお弁当を一人ひとりがつくれるようになることを目標とするものではない。お弁当づくりをとおして、相手のことを知ろうとしたり、毎日お弁当を作ってくれるお家の人の思いを考えたり、お弁当の向こうに見える他者に思いをはせる時間としたい。お弁当を、友達や家族、地域の方々、更には未来の健康的な食生活とつなげる媒体として考えている。

3 生徒について

一生懸命取り組む生徒である。学級の中では、会話や笑顔も増え伸び伸びと生活しているが、集団が大きくなると混乱し不適切な言動でまわりと距離ができてしまうことがある。4名ともその距離に気づきつつあり、他者とどう関わっていけばよいのかと悩み始めた生徒もいる。

(写真)

4 指導計画 <本時26/28>

○平出さんについて知ろう！ ・奥さんにインタビュー ・平出さんメモをつくる	2時間
○お弁当作りについて学ぼう！ ・農園でできる野菜のレシピ ・平出さんに必要な1食分の栄養と分量 ・ちょうどよいお弁当箱の大きさ ・主食・主菜・副菜 ・彩りと味付けのバランス	10時間
○農園弁当第1号のレシピをつくろう！	4時間
○農園弁当第1号をつくってみよう！	2時間
○農園弁当第1号を改良しよう！ ・時間短縮アイテム ・簡単レシピ ・常備菜レシピ ・お弁当をおいしくつめるコツ	4時間
○お弁当のパッケージをつくろう！	2時間
○平出さんに農園弁当第1号を届けよう！ ・農園から野菜を収穫する。 ・農園弁当第1号をつくる。 ・平出さんに届ける。	3時間
○農園弁当第1号をふりかえる。	1時間

(写真)

5 単元の目標

- ①平出さんに「ありがとう」の気持ちを伝えることができる。
- ②自分の役割が分かり、手順表を確認しながら作業を進めることができる。
- ③友達や教師の話を最後まで聞き、それについて自分の意見を表現することができる。
- ④平出さんの体に合ったお弁当の献立を考えることができる。
- ⑤友達と協力して学習の準備や片づけを行うことができる。

6 単元にかかわる生徒の実態

生徒	本単元に関する実態
A	①あすなる農園の園長として、平出さんには大変感謝している。「平出さんにあすなる工房から何かプレゼントしよう！」とみんなにもちかけた。 ②自分の役割に誇りをもって取り組むことができる。 ③意見をもっており発表ができる。教師や友達の話を部分的に聞いているときがある。 ④栄養バランスやカロリーを考えて献立を考えることができる。 ⑤何事もやりすぎて友達にうるさがられる時があるが、友達の役に立ちたい気持ちは十分にある。
B	①平出さんは、家族や教師以外で初めて叱ってくれた人、自分から手紙を書こうと初めて思った人でもある。 ②作業に見通しがもてれば、安定して作業に取り組むことができる。 ③話を最後まで聞くことができる。二者択一なら自分の気持ちを表現できるようになってきている。 ④食事に偏りが見られ、食べる量も少ないが、食べることは好きである。食物の学習にも意欲的に取

	り組んでいる。 ⑤困った時に、友達に助けを求めることができる。
C	①平出さんのことを農園の先生だと思っている。定植終了後に平出さんの似顔絵を描いてプレゼント、平出さんにその似顔絵をほめてもらっている。 ②時間はかかるが、レシピを確認しながら一人で作業を進めることができる。 ③自己決定には教師の支援を必要とする。 ④食物のカロリーや栄養のバランスの学習には、支援が不十分なため意欲的に取り組めないでいるが、食べ物の好き嫌いは少なく、調理活動も好きである。 ⑤困った時には、ヘルプカードを自分から教師に出せるようになってきている。
D	①農園を毎日見に来てくれたり、集会などでも自分たちのことをしっかり見ていてくれたりしている平出さんに感謝している。 ②リーダーとして誇りをもって作業に取り組むことができる。 ③友達や教師の話の途中で自分の思いを話すことが多いが、自分の気持ちは言葉で表現することができる。 ④食物の学習には大変意欲的で、栄養、食事の量などを考えながら食事をとるようになってきている。 ⑤作業に時間がかかるため、友達の手伝いをする余裕がないことが多いが、友達の役に立ちたい気持ちは十分にある。

7 本時の学習

(1) 目標

<全体>

平出さんと一緒に食べようと思えるお弁当を力を合わせてつくることができる。

<個別>

生徒	本時の目標
A	・平出さんの喜ぶ顔を思い描きながら、作業を進めることができる。 ・一つ一つの行程を丁寧に行うことができる。
B	・平出さんに「ありがとう」と言われ、うれしく思う。 ・分からなかったり、困った時は、友達に聞くことができる。
C	・平出さんに「ありがとう」と言われたことに気づくことができる。 ・分からなかったり、困った時は、友達にヘルプカードを出して自分の気持ちを表現することができる。
D	・平出さんの喜ぶ顔を思い描きながら、作業を進めることができる。 ・困っている友達に気づくことができる。

(2) 展開

配時	学習活動	教師の支援(個々の生徒への配慮)
10分	<p style="text-align: center;">作業台、レシピの準備・身支度・あいさつ</p> <p>○作業台の上を整理し、布巾で拭く。</p> <p>○レシピを自分が見やすいところに置く。</p> <p>○身支度を整え、チェックを受ける。×だったら、友達にアドバイスをもらいやり直す。</p> <p>○Dは全員が準備ができたかを確認し、準備ができて</p>	<p>集団全体への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が協力してスムーズに一連の活動を行えるように、係分担表を用意し、教材の配置や生徒の動線を整理する。 ・生徒だけで準備が整うよう、あすなる工房主任のDの作業を軽減し、全体をみる余裕をもたせる。 ・4名とも自分で作業を進めることができるよう、手順表を実態に合わせて用意する。 <p>・BとCには準備の手掛かりになる写真を必要に応じて提示する。</p> <p>・BとCには置き場所を提示する。</p> <p>・身支度を○×で分かりやすくチェックする。</p> <p style="text-align: right;">太枠が本時</p>

	いない友達に声をかける。整ったらAに合図を送る。									
10分	<p>○Aの号令であいさつをする。</p> <p>○平出さんの奥さんからのビデオレターをみる。</p> <p>○Aはスケジュール表を見ながら、今日の活動を読み上げる。</p> <p>○今日の学習のめあてを確認する。</p> <p>○Dがタイマーをおかずづくり終了時刻にセットする。</p>	<p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを準備する。 ・サプライズ企画であるため、意欲が高まるよう声かけをする。 ・スケジュール表を準備する。 ・ボードを見せながら簡潔に説明する。 ・いつもより時間がないことを強調。力を合わせなければ時間内には完成しないことを伝える。 								
40分	<p style="text-align: center;">お弁当のおかずをつくる。</p> <p>○それぞれが担当のおかずをつくる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>担当のおかず</p> <p>A 鮭の塩焼き、卵焼き</p> <p>B きゅうりとちくわのピリ辛炒め、たこウインナー</p> <p>C ベーコンなす、ヒライデさん、つけもの</p> <p>D お弁当をつめる</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">*作業工程表は当日</p> <p>○A、B、Cはおかずができ次第Dに届ける。</p> <p style="text-align: center;">お弁当のおかずをつめる。</p> <p>○Dはおかずをつめていく。時間が足りない時は、AがDの補助をする。</p> <p>○B、Cは片づける。</p> <p>○Dはお弁当を詰め終わったら、みんなを自分のテーブルに呼び、この弁当をどうするかみんなに問いかける。</p> <p><今すぐ届けたいとなった場合></p> <p>○Dは教師から平出さんのお家に行く許可をもらう。</p>	A	B	C	D					<ul style="list-style-type: none"> ・BとCには、手順表を見るよう促す。 ・BとCが使う食材はまとめておく。 ・BとCには切り方の見本をそれぞれ提示する。 ・チェックリストを用意し、その都度評価を行っていく。 ・片づけも並行して行うよう促す。 ・作業が終わった人は友達の片づけを手伝うよう声をかける。Aには参観者への試食の準備を促す。 ・何をどう片づけたらよいか手順表で示す。
A	B	C	D							
15分	平出さんのお家にお弁当を届ける。									
20分	今日の学習を振り返る。									
	<p>○一人ひとり、がんばった点、むずかしかった点、友達の良かった点を話す。Dが司会をする。A、B、C、Dの順に発表する。</p> <p>○教師の評価を聴く。</p> <p>○Dは全員が準備ができたかを確認し、準備ができていない友達に声をかける。整ったらAに合図を送る。</p> <p>○Aの号令であいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の手がかりとしてふりかえりメモを用意する。 ・ボードとシールを使用して分かりやすく評価していく。 								